

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名： レセプト情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査』

研究機関名： 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者： 脳神経外科 職位・氏名： 教授・岩淵 聡

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、国立循環器病研究センターにより立案された、多施設共同研究へ参加します。本研究の目的は、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことです。この研究で得られる成果は、今後の脳卒中・脳神経外科疾患診療の発展につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者： 2019年4月～2020年3月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科において、脳卒中もしくは脳神経外科関連疾患のため入院治療を受けられた方。

東邦大学医療センター大橋病院より約300症例を予定(本研究全体で約500,000症例を予定)。

方法： 入院、外来レセプトデータ、もしくはDPCデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

入院、退院レセプトデータ、もしくはDPCデータより抽出された患者基本情報(生年月日、性別等)。入退院時情報(入退院年月日、入院経路、生活自立度等)、脳卒中・脳外科関連疾患に関する臨床症状(重症度、検査データ、画像データ等)、治療情報(血管内治療施術までの時間、退院後の検査、治療、リハビリテーションに関する情報等)

【外部への試料・情報の提供】

本研究は国立循環器病研究センターを代表施設とした、多施設共同研究です。患者さんの入院、退院レセプトデータもしくはDPCデータより抽出された臨床データは患者さんを直接特定できる情報(お名前やカルテ番号等)を削除し、匿名化後にデータ収集業務を代表施設より委託された健康保険医療情報総合研究所(PRRISM)へ送られます。収集された患者さんのデータはその後代表施設にて、統計解析されます。

【研究組織】

代表施設名： 国立循環器病研究センター 研究代表医師： 飯原弘二 役職： 病院長

本研究は日本脳神経外科学会の研修プログラム参加施設、日本脳卒中学会の認定研修教育施設、脳卒中センター認定施設、日本神経学会教育施設の中から参加を決定した施設より、年間500,000例の症例を収集・登録予定。2021年1月現在、682施設が参加予定。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名： 講師 ・ 林 盛人

電話： 03-3468-1251 内線： 7434